**ワークシート３　グループワーク用　　個別ケース会議**

**参加者**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | | 所属・役職 | 氏名 | 所属・役職 |
|  | | 福祉課担当者 |  | 虐待防止センター相談支援専門員 |
|  | | 福祉課係長 |  | 弁護士会 |
|  | | 福祉課課長 |  |  |
| **１．虐待の有無の判断**＊１（養護者）、２（施設従事者等）、３（使用者）  □身体的虐待の疑い（□１　□２　□３）　　□放棄・放任の疑い（□１　□２　□３）  □心理的虐待の疑い（□１　□２　□３）　　□性的虐待の疑い　（□１　□２　□３）  ☑経済的虐待の疑い（□１　□２　☑３）  ☑その他（友人による財産上の不当取引による被害）  □虐待とは言い切れないが不適切な状況（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | |

**２．緊急性の判断**

　□【緊急性有り　高度】→□即保護分離（措置・入院）　　□立入調査

　☑【緊急性有り　中軽度】

□【緊急性無し】

□【判断できず】

**３．都道府県への報告及び通知について**

　□養護者による虐待が認められた、もしくは疑われるため、都道府県への報告を行う

□障害者福祉施設従事者による虐待が認められた、もしくは疑われるため、都道府県への報告を行う

☑使用者の虐待が認められた、もしくは疑われるため、都道府県への通知を行う

上記判断をした理由

　　・給与の未払いがあり経済的虐待の可能性が高い。また、会社関係者が、悟さんの自宅の処分をほのめかす発言をしており、会社に印鑑、家の権利書等を管理されており、財産侵害が行われる疑いがある。

・父親からの相続分の預金の中から、友人に150万円を貸したが約束通り返してもらえない。また、飲み屋で友人からおごらされたり、店の女性からも高額なものをねだられたりしている。

**４．当面の支援方針**

　使用者による経済的虐待や財産侵害の疑いがあることから、県障害福祉課（障害者権利擁護センター）に早急に通知・報告するとともに、印鑑や権利書を取り戻すこと、友人からの搾取を防ぐための方法について検討する。

**５．個別支援計画表**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 課題 | 支援内容 | 支援機関・担当者 | 実施日時・期間 |
| 給料の未払いがある。また会社に印鑑や権利書を管理されている。 | 県障害福祉課（障害者権利擁護センター）に通知・報告。専門相談の検討。 | 市障害福祉課・県障害福祉課、弁護士 | 1週間以内 |
| 金銭管理が出来ず、友人から財産上の不当な搾取を受けている。 | 日常生活自立支援事業及び成年後見制度の利用を検討。 | 社会福祉協議会・市障害福祉課、弁護士 | 〃 |
| 障害福祉サービスによる支援を受けていない。 | 療育手帳の取得の為の支援 | 市障害福祉課・  相談支援専門員 | 上記2点の課題解決を優先し、状況を見ながら順次支援 |

**上記支援計画の情報の取りまとめ及び責任者（　市障害福祉課　担当者　）**